

脳血管センターを開設しました



脳血管センター長(特任教授)
寺田 友昭

2018年12月に脳卒中に対する予防、治療の重要性が再認識され、脳卒中・循環器疾患対策基本法が成立いたしました。当院に今年6月に開設された脳血管センターでは、地域の脳卒中医療を担うべく24時間、365日体制で脳卒中診療に取り組んでゆきます。

脳血管センター長は、昭和大学藤が丘病院より脳神経外科の特任教授として昭和大学横浜市北部病院に異動しました寺田友昭が務めます。専門は脳神経血管内治療で国内のパイオニアの一人であり、指導医番号は9番で脳神経血管内治療が日本に導入された当初より約35年間、本治療に携わっております。治療件数も4,000例を超え、今でも年間200件を超える高難度血管内治療を昭和大学のみならず国内の各施設で行っています。また、国内のみではなく、海外の脳神経血管内治療関連の主要な学会でも役員を務めています(LINNC, LINNCAsia, ALICE, WFNS等)。特に、下記の疾患で治療を受けるかどうかお悩みの患者様がおられましたら、是非ご紹介ください。

- 1) **脳動脈瘤**: 難易度の高い大型脳動脈瘤に対するフローダイバーター、複数ステント組み合わせによる治療を行っており、他府県からの多くの紹介患者に対応しています。
- 2) **脳動静脈奇形(AVM)**: ONYXを用いた塞栓術および集学的治療、特に経静脈的塞栓術を国内で初めて成功させ(Journal of Neuroendovascular Therapy 2019)、現在まで4例を経静脈的塞栓術で根治させています。
- 3) **硬膜動静脈シャント**: バルーンカテーテルを用いて静脈洞を温存した状態でシャントのみを閉塞させる新たな手技を開発しています。特に軽症のType IIは拍動性耳鳴りで発症することが多く、根治は困難でしたが、本法で90%以上の割合で根治が得られます。拍動性耳鳴りの患者様も御紹介いただければ当科で精査、加療いたします。
- 4) **頸動脈狭窄症**: 約1,200件という国内最多の治療経験を有し、狭窄症のみでなく慢性期完全閉塞症に対して世界初の治療成功例を Journal of Neurosurgery 2005 に報告しています。

よろしくお申し上げます。

■ 外来担当日・手術日	昭和大学横浜市北部病院	昭和大学藤が丘病院
外来担当日	金曜日午前	火曜日午前
手術日	火曜・木曜	月曜日

眼科 最新事情



診療責任者・准教授
うすい たかひろ
薄井 隆宏

2020年4月より眼科医8名、視機能検査技師6名の体制です。

昨年はコロナ禍のため、病院の方針で一時的に定期手術の中止や延期により、近隣の先生方へご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

当院では、白内障、緑内障、角膜、網膜硝子体疾患、外傷、などの眼科全般を診療しています。

白内障手術は、年間1,100件以上行っており、日帰り入院手術が選べます。現在は、半数以上

の方が日帰り手術を受けています。術中波面収差測定装置ORAを導入し、今までの方法と合わせてダブルチェックで精度をあげています。この装置の導入に伴って、乱視用眼内レンズの使用頻度も増え、白内障手術による乱視補正もより多くの患者様に行っております。また、選定医療で多焦点眼内レンズも導入しております。水晶体脱臼症例に対しては、眼内レンズ縫着術や強膜内固定術などの二次的的眼内レンズ挿入術も積極的に行なっております。

網膜硝子体手術は年間300件程度行っています。糖尿病網膜症、網膜剥離、黄斑円孔、黄斑上膜などの網膜硝子体疾患を、最新の設備で積極的に施行しています。手術は、極小切開硝子体手術で行っております。

抗VEGF治療に関しましては、硝子体注射を年間700件以上行っており、日帰りまたは入院で対応しております。光線力学療法(PDT)も施行しております。

緑内障手術は、通常のトラベキュlectミー(線維柱帯切除術)という手術から、難治性緑内障にも対応できるインプラント手術も行っております。低侵襲緑内障手術である白内障手術併用眼内ドレーン(アイステント)やab interno trabeculotomy(谷戸フック)の手術も施行しております。

角膜移植は、現在行っておりません。眼瞼下垂や眼瞼内反症、斜視手術も行っております。

小児眼科の斜視、弱視疾患は午後に特殊外来で診療しており、小児にできるだけ時間をとって検査、診察が受けられるように配慮しています。小児の斜視手術は現在行っておりません。入院の未熟児網膜症児に対し、診療を行っております。涙に関する手術は、現在ほとんど行っておりません。甲状腺眼症に関しましては、第1、第4木曜日午後に専門外来を行っております。



視力検査



水晶体再建術

地域医療機関のみなさまへ

当院での手術や入院加療などが終了され落ち着いた患者さんには、ご紹介医やお近くの眼科クリニック様での御加療をお願いさせていただいております。ご紹介をお待ちしています。

1 出生前検査外来の予約方法が変更になりました

○妊婦さんが、NIPT、初期コンバインド検査などの出生前検査を検討・希望されている場合、必ず、臨床遺伝・ゲノム医療センターの「出生前検査外来」を受診していただきます。

○完全予約制です。妊婦さん本人に、WEBサイトより予約していただく形に変更になりました。電話での予約は不可です。

出生前検査外来予約サイト <https://showa-u-suhy.resv.jp/>

(当院HPの「専門外来」>「臨床遺伝・ゲノム医療センター」>「出生前検査外来」からアクセスできます)

○紹介状は、これまで同様、当院HPからダウンロードしていただき、正確な妊婦情報の記載をお願いします。

○明らかな胎児異常を認める場合などは、産婦人科にご紹介ください。

今後ともよろしくお願いいたします。



2 フットケア外来・褥瘡外来をご利用ください

○形成外科では、皮膚・軟部組織腫瘍、先天異常、顔面・四肢の外傷・組織欠損の修復、その他形成外科疾患などの診療を行ってきました。しかし、糖尿病患者が増多の中、糖尿病足病変など足にトラブルを抱える患者さんも増加し、形成外科領域でも診療することが多くなっております。

○そこで、2003年から多職種で構成されたチーム医療を担う、褥瘡対策チーム(形成外科医師、皮膚科医師、リハビリテーション科医師、皮膚・排泄ケア認定看護師、管理栄養士、薬剤師)の特徴を生かし、褥瘡をはじめ糖尿病性壊疽、静脈鬱滞性潰瘍などの難治性下肢潰瘍の治療を、ご本人とご家族、施設介護者に、2~4週に1回の通院による創部処置方法の説明を含めた診療を行っています。

○予約枠には制限がありますが、チームで協力し合い環境要因を含めた指導を行っておりますので、**褥瘡・足病変は毎週木曜の13:30~のフットケア外来、14:00~の褥瘡外来へご紹介下さい。**



月曜日祝日 (国民の祝日あるいは振替休日にあたる月曜日) の対応

日付	休日名	対応
2021年	8月9日	山の日の振替休日
	9月20日	敬老の日
2022年	1月10日	成人の日
	3月21日	春分の日

※なお、2021年は3つの祝日が移動しており、次のとおりの診療体制となります。

平日 (通常診療) 7月19日 (月)、8月11日 (水)、10月11日 (月)

祝日 (休診日) 7月22日 (木)、7月23日 (金)、8月8日 (日)

緊急受診 ドクターToドクターのご案内



医療機関の皆様、診察する中で緊急に北部病院に紹介する必要性が生じた場合は、右記フローに基づき電話でご連絡をお願いします。

■ 医療機関専用電話

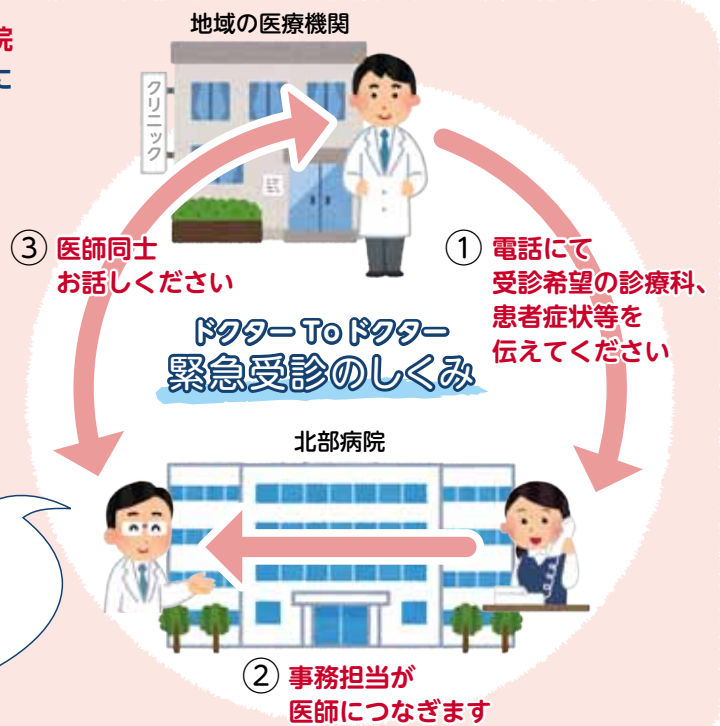
045-949-7151

月～土曜日 8時～17時 (地域医療連携室)

上記以外 (救急事務室：電話番号は同じ)



患者さんが到着する時間が17時を過ぎる可能性がある場合は、診療場所が救急センター外来になることがありますので、到着見込み時間、来院方法を当番医師に伝えてください。



地域医療連携室に着任しました

皆さんが安心して当院を受診していただけるように、また地域の診療所や一般病院とのコミュニケーションを進め、連携を深め、北部病院が地域医療に貢献できるよう努力していきますので、今後ともよろしくお願いいたします。



地域医療連携室課長 秋山 直之
地域医療連携室長 池尻 恵子